

松江市立病院 臨床研修了式



「人は人、^{ちが}違いを楽しみましょう」

事務局長 吉川 浩二

当院の玄関を彩る枝垂桜もきれいに開花しました。新年度を迎えるこの時期は、旧知の友との別れに寂しさを感じる一方、新たな出会いや門出に心が躍る大好きな季節です。

先日、職場の仲間と賛談していると、「自分は浮ついた春が最も嫌な季節であり、春を寿ぐ人たちの気持ちが理解できない」という人に遭遇し、とても驚きました。

嗜好や境涯は、人それぞれであり、自身の素直な気持ちを吐露されたと思います。自分の価値観とは異なるという事実を受け止め、お互いが（自分からみた）“異人・変人”を認め合い共生していくことが、仕事場においても大切と知らされた次第です。

当院は多職種、多様な人々が行き交う市内有数の大型施設であり、院内は多くの若人により華やいだ雰囲気です。

人が集い賑やかになれば、困難も機会も増えるでしょう。あらゆる機会の中に困難を見いだすよりも、あらゆる困難の中に機会を見いだす楽観的思考で前へ向かひましょう。研修医の皆さんを心から歓迎します。

臨床研修病院としての役割

地域の中核病院としての機能を有する当院において、最新の医療施術及び情報を提供し、病院全体として医師の臨床研修を積極的に支援する。

初期臨床研修 理念

プライマリ・ケアから高度な医療まで幅広い経験を積むとともに、様々な医療従事者と密接な連携のもとで多くの患者に接することにより、医師として必要な人格を育み、広く社会の医療福祉に貢献できる人材を育成する。

基本方針

- ① 臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を修得する。
- ② 人としても信頼される人格・素養を身につけ、思いやりの心を持って患者およびその家族に向き合い患者中心の全人的医療を行える。
- ③ チーム医療の一員としての役割を理解し、他職種と協働して診療することができるコミュニケーション能力を身につける。
- ④ 医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける。
- ⑤ 地域の中核病院としての役割を理解し、健康の保持、疾病の予防から社会復帰に至る医療全般の責任を有することを自覚し、行動できる。

歯科医師臨床研修 理念

患者中心の全人的医療を理解した上で、歯科医師としての人格を涵養し、総合的な診療能力を身につけ、臨床研修を生涯教育の第一歩とします。

基本方針

- ① 全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践できるよう、歯科医師として必要な基本的診療能力を身につける。
- ② 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- ③ メディカルスタッフや地域の担当者等幅広い職種の人達とコミュニケーションを十分にとり、チーム医療を推進する。
- ④ 医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける。
- ⑤ 歯科医師としての良識と品格を備えるよう努力する。



新しい研修医を迎えました

11名の新しい仲間を迎えて平成31年度をスタートしました。今年は桜の開花にピッタリでしたが、カメラマンの腕が伴わず折角の美男・美女が申し訳ない……。



1年次、2年次あわせて18名の研修医で助け合って、競い合って有意義な研修医生活を送って欲しいです。

BLS研修

4月27日に当院の必須研修カリキュラムであるBLS研修を実施しました。1年次研修医が救急外来診療に出る前に毎年実施しています。みんな真剣そのものです。

BLS研修の修了後6月にはACLS研修も実施の予定です。



臨床研修委員会主催大歓迎会

4月8日に新採用研修医の歓迎会を開催しました。2年次が修了とともにいなくなって寂しくなっていたのですが、新採用の研修医を迎え一気に賑やかになりました。4月のローテート診療科の先生にも出席頂き有り難うございました。みんな自己紹介で自分をアピールできましたか？熱烈歓迎の指導医により会は大いに盛り上がりました。



臨床研修委員会主催大修了祝賀会

3月20日に2年次8名、1年次たすき3名の研修修了祝賀会を開催しました。毎年感じますが2年次は、採用時より1回りも2回りも大きく成長したような気がします。後輩からのプレゼントもあり嬉しそうです。みんな研修修了おめでとう!!

無事修了しました。
お世話になりました。



ヤッター!

レポート提出が1番の石黒先生、研修医カンファレンスの出席が最多の栗原先生。がんばった2名に賞状と記念品を贈呈しました!

病院長との意見交換会

2月5日に研修医と病院長との意見交換会を開催しました。普段から交流はありますが、時間を確保して当院での研修や生活について、また要望や希望などを直接病院長へ話すことが出来る良い時間となっています。今までこの会に於いて研修医から出された要望によりいろいろな改善がなされてきました。今回は、上級医へのコンサルテーションについて、救急外来のエコーについての意見が出ました。出た要望に対しては迅速に対応して研修医のモチベーション向上につなげていきます。



病院長との意見交換会で出た要望に対応し、救急外来のエコーに心エコー用のプローベが新しく追加されました。3月5日・6日に業者からの使用説明を受けました。どんどん利用してください。



合同説明会

2月15日に島根大学医学部附属病院、4月12日に鳥取大学医学部附属病院でそれぞれ開催された臨床研修合同説明会に参加しました。当日は、プログラム責任者と研修医が、学生に当院の初期研修についてアピールしました。多数の学生がブースに来てくださり熱心に説明を聞いていました。学生の皆さん、「百聞は一見にしかず」病院見学お待ちしております!

島根大学
での説明の様子→



→鳥取大学での説明の様子



指導医からヒトコト

循環器内科 岡田清治



4月から新年度、また新たに研修医の先生たちが病院に来られ、不安と期待が入り混じった表情をしながらの研修が始まりました。この時期に思うことは1年前同じように当院へ研修に来られた先生たちが1年間の研修を経て2年目となり、みんな先輩医師としての表情に変わってきたな、ということです。そして率先して1年目の研修医の先生たちに事務的なことから医学的なことまで手取り足取りで教えてくれています。1年間の当院での医師としての経験が間違いなく彼ら彼女らの糧になっていることを指導医としても実感するところであり、とても心強く思います。1年目の研修医の先生たちは、医師としての研修が始まったばかりの自分たちと2年目の先生との大きな違いを感じて不安になることもあるでしょうが、研修の期間を経て医師としても、また人としても間違いなく成長していけると思います。医師としての道のりはまだ始まったばかり、焦らず、頑張っていきましょう。

研修風景

4月1日～8日の6日間で研修医採用時オリエンテーションを実施しました。9名の医科1年次研修医と2名の歯科1年次研修医併せて11名の新入職の研修医が緊張と不安の中がんばっていました。

<縫合練習>

みんな真剣な様子です。形成外科松井先生の指導のもと実施。2年次研修医も指導役として参加してくれました。(歯科の2人は何だかとても楽しそう)

<電子カルテ演習>



<血液型判定・交叉試験>

検査部で臨床検査技師の指導で自分の血液を調べました。



<採血練習>

2年次研修医が心配そうに見守る中、採血練習を行いました。院内より多くの腕を借りました。ご協力有り難うございました。



 **松江市立病院**
Matsue City Hospital

〒690-8509
島根県松江市乃白町32番地1
TEL(0852)60-8000(代)
FAX(0852)60-8005

発行者 / 松江市立病院病院長 紀川純三 編集・作成 / 総務課